

# 令和6年度定期総会開催

## 震災後初の双葉郡 浪江町での開催

# 双風

### 臨時版



挨拶する鈴木恵一支部長

令和6年度「双葉支部定期総会」と新入会員歓迎会・懇親会が、四月十六日（火曜日）に

### 双葉の灯は消さない

浪江町の「福島いこいの村 なみえ」で開催されました。

総会は、双葉郡内で震災後初めての開催。県内はもちろん遠く県外の千葉県や宮城県からも、二十一名のみなさんが参加されました。

この中で、今後「双葉の灯は消さない」（県は「紅葉会」の開催を予定し

も「双葉の灯は消さない」(県は「紅葉会」の開催を予定し

今年度の事業計画では、前年度に引き続き、学校訪問、現職校長先生方との「紅葉会」の開催を予定し

編集発行  
福島県公立学校  
退職校長会双葉支部  
発行責任者  
鈴木 恵一  
事務局  
☎ 961-0873  
福島県白河市  
松並1-8  
小野田 敏之  
090-2885-6492



ております。また、今年度は、新たに四名の方に入会いただきました。今年度の会員数は全一〇三名です。

### 年会費の変更

協議の中で「年会費額の変更」について話し合いが行われ、次年度より、震災前の六千円（現在は四千円）に戻すことが決定いたしました。

これは、これまで毎年、十数万円を繰り入れてきた特別会計費がここ数年でなくなることで、今秋実施予定の郵便料金の値上げ、今後予想される会員数の減少などが、その主な理由です。

### 懇親会も和やかに

総会後には、同じ会場で新入会員の歓迎会と懇親会が行われ、総会には出席できなかった方々を含めた二十二名の皆さんが参加されました。

久しぶりの、故郷での懇親会に、皆さんのお顔も、とてもおだやかで嬉しそうでした。

### お悔やみ申し上げます

令和五年度、本支部会員の前田英明先生が、ご逝去なされました。謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

十六年ぶりの双葉郡

佐伯哲夫氏

県公立学校退職校長会双葉支部の皆様、今年度より入会させていただきました佐伯哲夫と申します。

平成二十年度末、大熊町立大野小学校より教頭に昇任し、双葉郡を離れてから十六年ぶりに双葉支部に戻ってまいりました。

昇任した伊達市立白根小学校では、いろいろあつて三年間で相双に戻る事ができず、ちょうどそんな時に東日本大震災が発生し、故郷を失うことになってしまいました。

家族と共に伊達市での避難生活を一年間送り、その後いわき市で勤務を続け、



令和四年度に無事退職いたしました。

先日、総会で双葉支部でお世話になったなつかしい校長先生方にお会いし、「やつと双葉に戻ってきた」と涙が出るほどうれしい気持ちになりました。

かつての双葉郡とは全くなかたがう教育現場となつてしまいました。これからは孫守りに精を出しながら、新しく生まれ変わる双葉郡の教育の小さな助けができればと考えております。

風を楽しみながら

阿部 央氏



昨年3月に国見町立県北中学校を最後に教員生活にピリオドを打ちました。退職後は、とりあえずのんびりと気ままに過ごそうと考えていましたが、現実はずいぶん厳しいものでした。現実はずいぶん厳しいものでした。

現在、週3日をベースに

国見町教育委員会で管理主事としてお世話になり2年目を迎えています。

5年程前、首から左手親指にかけての違和感から自宅近くの整形外科を受診すると頸椎症の診断。週1回の通院で首の牽引と電気治療、服薬を継続中です。

休日は給食の恩恵を受けて成長したお腹のダイエツトのため、1万歩以上を目標に福島市内を風を楽しみながら歩いています。

ある冬の午後、某小学校近くを歩いている

と下校途中の小さな女子児童と遭遇。すれ違いざまに「さようなら。気を付けて帰りなね。」と声をかけた瞬間、女子児童は猛ダツシュ。知らない人に声をかけられた

# みなさん

ら逃げなさいという学校の指導が行き届いているようで、感心させられる反面なんとも言えない淋しさが。知らない人から知っている人になるべく、今日もすれ違う子どもたちに元気に声をかけています。

## 38年間への感謝

猪狩良一氏

昭和60年4月に棚倉高校を初任地として、令和5年3月に船引高校で退職するまで、38年間の教員生活でした。その間の勤務校は、県内延べ11校になりました。

富岡町生まれの私にとつて、母校双葉高校での10年と県内総合学科の草分けだった双葉翔陽高校での8年間の勤務は、特に地元への思いを胸に熱量に溢れた時代だったと思います。

双葉、県南、いわき、南会津。そのそれぞれの地で

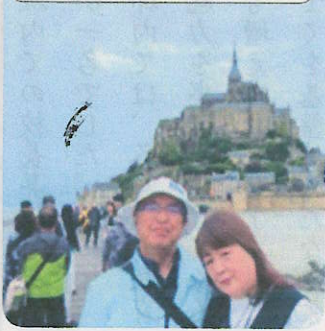


の生活と多くの出会いは、私の人生をより豊かにするものであり、生涯にわたる人間関係の構築と、私自身の教員として人間としての成長に大きな影響を与えたと言えます。

昨年、定年退職の折、それぞれの勤務地の同僚だった先生方や教え子達が、退職祝いを催してくれました。全くもって教員冥利に尽きる思いで感謝の気持ちに堪えませんでした。

そして現在、震災後いわき市に転居しましたが、元々農家の出ということもあり、住宅地ではありませんが自宅前の公園や通学路の草刈りボランティア等をして気楽な毎日であります。

モンサンミッシェル 5/28



今後健康第一に過ごしてまいりたいと思います。

入会に寄せて

早川良一氏

退職校長会双葉支部の皆様には、これまで多大なるご指導とご支援を賜りまして誠にありがとうございます。今年3月末をもって退職し、本会に入会させていただきました。

4月当初は、同期の方々が継続して活躍されているのに、自分は何もしないで良いのかとか、役職や責任が無くなったという解放感が入り乱れていました。

ただ、退職を機にこれだけは真っ先に行おうと5月末

に妻と、イタリア・フランスに行ってきました。自分にはヨーロッパは合わないと思っていたのですが、妻の強い希望もあり、体力があるうちに、行程の半分が移動時間十見学

に数日は要するといわれる宮殿や美術館を約2時間で駆け巡る弾丸ツアーに参加してきました。町中に溢れかえる古代の建造物や美術品に感動させられながらも、日本の文化や食、物価、治安の良さを改めて実感した8日間でした。

退職して3か月が過ぎようとしていますが、今後どのようなことに挑戦しようか考えているところです。本会の皆様には、今後とも

# 令和5・6年度 新入会員の

ご指導をいただけますようお願い申し上げます。

なみえのことも園

馬場隆一氏

私は一昨年、なみえ創成中で定年退職し、現在、浪江にじいろこども園に勤務させていただき、園長二年目になります。

園児に囲まれ、癒やされる毎日です。最近の出来事では、人見知りで泣いてばかりいた一歳の子が、できる遊びが増え、柔らかな表情になり、同時にハイハイが上手になりました。間もなく、自分の力でつかまり立ちを覚え、歩き出しました。園児は満面の笑みで私にも向かってきます。他の園児と関わりも上手になり社会性も確実に育つていきます。もの凄いスピードで成長するのを間近で見ることができ、心地よい幸せを感じています。

本園は、開園して七年目になりました。十名の園児で始まり、現在では五十二名。毎年約十名ずつ増えていきます。二年前に園舎を拡張したばかりですが、今後増え続ける見通しで、最近、再増築も決定。令和八年度には百五十名定員になります。浪江町は一人以下



井戸川浩氏

「これまでとこれから」

今年度から退職校長会双

葉支部に加入させていただきます。出身は双葉町です。どうぞよろしく願いいたします。

令和五年度末で役職定年となりましたが、定年延長に伴い、今年度も双葉南・北小学校に勤務しています。震災から十四年目を迎えました。我が母校は未だ避難先での教育活動を余儀なくされています。しかし、昨年度から学校再開に向けた検討が始まり、議論が進められています。そう遠くない時期に再び町で子どもたちの元気な声が聞かれることと思います。

さて、現在の教育界の一番の課題は教員不足です。県教委でも様々な施策を講じていますが解消には至っていません。それに伴い管理職へのなり手不足も深刻な問題で、令和六年度の相

双域内での校長昇任者はわずか一名でした。

郡内では、各学校の教育に魅力を感じ移住してくる方も増えてきています。これまでを基盤に新たな双葉の教育を進めていかなければならないと感じています。微力ながら奮闘しているところです。

### 退職後の生活

高田 英世氏



退職してから二ヶ月が経ちました。予定のないゆっくりとした時間の中で、これまでの行事や時間に追われた慌ただしい生活の疲れを癒やしているところです。思い起こせば十三年前の東日本大震災から生活が大

きく変わりました。震災時は飯舘村の白石小学校に勤務し、住居は飯舘村から福島市へ。その後、会津若松市、二本松市、南相馬市、浪江町と転々としてきました。家族は震災直後から妻の実家のある会津若松市に避難していたため、単身赴任の生活が退職するまで続いてきたのです。

現在妻は、まだ現職のため、一緒に旅行することもなかなかできませんが、その一方、毎日家でただただして過ごしていても文句を言われることはありません。そんな中、まずは運動不足の解消と体力強化のため、毎日数時間のウォーキングを始めています。今後はさらに歩く時間を増やし体力をつけ、登山にも挑戦したいとも思っています。今は熊の心配もあり、近場で我慢しているところです。

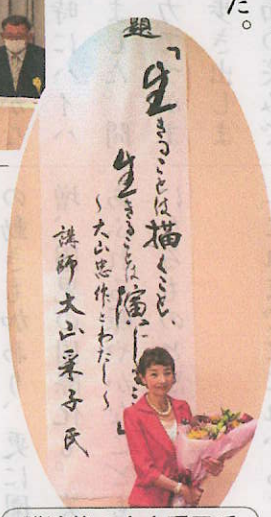
## 第五十八回県大会 二本松大会が開催

六月十二日(水)第58回となる今年度の県大会が、二本松大会として、二本松市の「二本松御苑」において開催されました。

松本貞男副支部長、松岡保夫会計、小野田庶務の四名が参加しました。

今大会には、

双葉支部から、  
鈴木恵一支部長、



講演後の大山采子氏



開会式でご挨拶する福士会長

福士寛樹氏からごあいさつ。その後、日本画家大山忠作氏の長女、大山采子氏の「生きることは描くこと、生きることは演じること」と題する講演会。午後からは、石川支部、耶麻支部、いわき支部の体験発表が行われ、大会宣言を採択して閉会しました。

来年度は、会津支部(南会津田島)で開催される予定です。

### お祝い申し上げます

○本年六月に、猪狩保氏が百歳の寿詞を、岸真氏が八十八歳の賀詞を受けられました。誠におめでとうございます。

### 編集後記

○今年度も2つの同好会(ゴルフと登山)が活動しております。興味をお持ちの方は、ぜひ御連絡をお願いいたします。

○各支部のクラブ活動の状況や諸活動の様子が、県のホームページ(「福島県公立学校退職校長会」で検索してください)に掲載されております。どうぞご覧ください。

